



自ら考え、正しく判断し、たくましく生きる幡豆小生の育成

1 ねらい

- (1) よりよい人間関係のもとで、自己肯定感、自己有用感を育み、「たくましく生きる力」を育てる。
- (2) 言語活動、思考活動を軸とした教育活動を展開し、自分で考え判断するための「考える力」を育てる。
- (3) 幡豆の自然やにしがま線等を利用した体験活動、地域との連携活動を通して、ふるさとのよさを実感し、自ら地域の形成者となろうとする資質能力を育てる。

2 活動内容

(1) たくましく生きる力を育むために

- ・ 児童会活動を中心とした異学年交流による行事活動を積極的に行う。
児童の企画による運動会全校演技 はずっこ集会の充実
ペア学年での遊び、校外学習
学習発表会に向けてのペア学年練習
- ・ 保小連携の研究を進め、実践を行う。
保小合同授業や校外学習の実施
保小職員の合同研修、保育、授業参観の実施

(2) 考える力を育むために

- ・ 図書室環境を整え、読書の機会を増やし、語彙力と表現力を身につけさせる。
行きたくなる図書室に向けての環境整備 蔵書、貸出システムの充実
ボランティアと先生たちによる読み聞かせ
- ・ キャラクター「かんがえる」君を中心に、児童の思考力を育てるための授業の工夫や効果的な学習方法、教材の工夫をする。
「考える」楽しさを引き出す教師の発問の研究
「考える」楽しさを実感するための学級活動、全校集会の実践

(3) ふるさとを思い、地域のために動く児童の育成のために

- ・ 生活科や総合的な学習などにおける地域学習を充実させる。
1年：弘法山、寺部の海の自然探検
2年：弘法山の自然、町の先生、野菜作り
3年：校区探検、町自慢 4年：幡豆の民話学習及び学習発表会などでの発表
5年：地域と連携した水田づくり 6年：幡豆の歴史巡り
- ・ にしがま線利用促進事業への児童主体の取り組みを行う。
にしがま線ポスター 「電車のある風景」 絵画
にしがま線沿線駅での児童による PR 活動
- ・ 幡豆小校区コミュニティー推進協議会などの地域との連携活動
児童に関わる活動を通じた地域との連携強化



はずっこ集会



ボランティアによる読み聞かせ



にしがま線について考える